

ふるさと安全たんけんスクールが行われました

県中建設事務所では、地域の防災や安全に対する正しい理解を深めるために、小学生の高学年を対象として、「ふるさと安全たんけんスクール」を開催しております。

平成19年11月28日に福島県田村市立滝根小学校で開催された「**ふるさと安全たんけんスクール**」について報告いたします。



講師による講義状況



完成予想図による現地説明状況



レベルを使った測量体験



土石流実験状況

この「ふるさと安全たんけんスクール」では、5・6年生65名の児童に総合学習の一環として参加をいただきました。

子供達の住む地域に予想される自然災害(土砂災害)から身を守るために「土砂災害の恐ろしさ」、「災害を防ぐための仕事」や「ふだんから注意しなければならない自然現象」などについて、正しく理解することを目的としています。

教室では、土砂災害による被害を最小限に食い止めるためにはどのようにすればよいかについて、福島県砂防ボランティア協会員と県中建設事務所の砂防事業担当者が講師となって、ビデオやパワーポイントを使って説明を行い、途中、ビデオが止まってしまうアクシデントもありましたが、児童たちは熱心に講師の話聞いていました。

また、学校の近くの土石流対策として砂防えん堤を施工している工事現場において、砂防えん堤の施工の方法について説明を行いました。

工事現場では、土石流の実験やレベル等の測量機械の操作も行って、土砂災害を防止するための仕事について身近に体験しました。

今回の「ふるさと安全たんけんスクール」によって、**土砂災害の危険性や警戒避難の重要性等**について理解していただけたのではないかと考えております。